

工場の排湯を家庭へ

小名浜・来春には配湯

いわき市小名浜の日本水素工業で熱した機械を冷却するたためる温排水を一般家庭に配る計画を進めている。いわき市商工会議所が、この計画を進めるため、今年中に小名浜配湯会(仮称)を設立し、来春四月事業開始を目ざし、本格的な準備に就く。これが実現すると、市内でも珍しい工場からの温排水を利用となり、一般家庭の炊事場や風呂には一日中お湯が出る。この温排水利用は、昨年十月から調査を始めていたもので、住民から完成が待たれている。

日本水素小名浜工場で、コークスを生産するさいに石炭を使っているが、製造機械がかなり熱せられるため、これまで海水を導入して冷却用としていた。工場から排出された温排水は、一日中お湯が出る。この温排水利用は、昨年十月から調査を始めていたもので、住民から完成が待たれている。

この冷却水は、現在七〇度になっているが、これではほとんど海に捨てられている。そこで海水を淡水にかえて機械の冷却をし、高温水となったものを一般家庭に配るわけ。現在の海水と同じく、二時間二百トンの配湯を予定している。

配湯の計画をたてた市商工会議所が、今年四月事業開始を目ざし、本格的な準備に就く。これが実現すると、市内でも珍しい工場からの温排水を利用となり、一般家庭の炊事場や風呂には一日中お湯が出る。この温排水利用は、昨年十月から調査を始めていたもので、住民から完成が待たれている。

小名浜に木材団地

初めての協業化経営

いわき市木材工業団地協同組合(滝口實雄理事長、十六企)は、このほど県と市にいわき市小名浜の中央工業団地に、木材団地建設の計画書を提出した。

計画書によれば、中央工業団地のうち十三万平方メートルの用地を買い、ここに三万三千平方メートルの工場、協同施設などを建設して、小名浜に木材団地を建設する。木材団地は、木材工業団地の協業化経営の第一歩と見られている。

休眠労働力を活用

労力不足をカバーへ

若年労働力の絶対不足は、各企業、とくに中小企業の悩みの種である。これをカバーする手段として、休眠労働力の活用が注目されている。休眠労働力とは、労働力として存在しているが、実際に労働市場に参入していない労働者を指す。例えば、主婦や高齢者、学生などが、一定の条件を満たせば、休眠労働力として活用できる。この活用は、企業の労力不足をカバーするだけでなく、労働者の生活安定にも貢献する。いわき市では、この休眠労働力の活用を促進するため、様々な施策を打ち出している。例えば、企業と労働者のマッチングを支援するサービスを提供したり、労働者のスキルアップを支援するプログラムを実施したりしている。また、企業に対して、休眠労働力の活用に関する情報を提供したり、相談を受けたりしている。このように、休眠労働力の活用は、企業の労力不足をカバーするだけでなく、労働者の生活安定にも貢献する。いわき市では、この休眠労働力の活用を促進するため、様々な施策を打ち出している。

バイパスの測量開始

佐藤町から植田町まで

いわき市を走る六号国道の緩和をはかるべく、建設省では、北茨城市・平間の三十三キロに、佐藤町・植田町の二・六キロに、バイパスの建設を進めている。このバイパスは、佐藤町から植田町まで、全長二・六キロ。このバイパスの建設は、六号国道の交通渋滞を緩和し、地域の発展に貢献する。測量は、今年度から始まり、今年度中に完了する予定。その後、設計、工事、開通の順に進められる。このバイパスの開通は、地域の交通の便を大幅に向上させることが期待されている。

製造卸

生産者から消費者へ

製造業と卸売業の連携が、生産者から消費者へ、直接の取引を実現している。この連携は、生産者の利益を確保し、消費者に低価格の商品を提供する。また、生産者の生産性を向上させ、消費者のニーズに迅速に対応できる。この連携は、地域経済の活性化にも貢献している。いわき市では、この製造卸の連携を促進するため、様々な施策を打ち出している。例えば、生産者と卸売者のマッチングを支援するサービスを提供したり、生産者の生産性を向上させるプログラムを実施したりしている。また、卸売者に対して、生産者の情報を提供したり、相談を受けたりしている。このように、製造卸の連携は、生産者の利益を確保し、消費者に低価格の商品を提供する。また、生産者の生産性を向上させ、消費者のニーズに迅速に対応できる。この連携は、地域経済の活性化にも貢献している。いわき市では、この製造卸の連携を促進するため、様々な施策を打ち出している。

花沢老人に

厚生大臣賞

いわき市四倉町元町長花沢乙丸さん(九三)は十五日、厚生大臣賞を受賞した。花沢さんは、長年にわたって、地域の福祉事業に貢献し、高齢者の生活の質を向上させるために尽力した。特に、高齢者の健康増進と生活の安定に貢献したことが評価された。花沢さんは、この栄誉に感謝し、今後も地域の福祉事業に尽力していく意向を示している。

よい時計・よいメガネ・輝くユビワ

木モト

平・二丁目 TEL. 2607

季節の料理

かき べい ばま やめ きし

平紅小路店 電話 二二七

平町前店 電話 二六三

平柳町店 電話 四八四

いわき市平字紺屋町29

馬目食品株式会社

社長 馬目ヨシ夫

取締役 馬目智夫

電話 平(4)3747 (3)1467

財団法人

松村病院

診療科目

外科	部長 松谷川 国男
脳神経外科	部長 松谷川 国男
整形外科	部長 松谷川 国男
内科	部長 松谷川 国男
消化器科	部長 松谷川 国男
循環器科	部長 松谷川 国男
泌尿器科	部長 松谷川 国男
産婦人科	部長 松谷川 国男
精神科	部長 松谷川 国男
放射線科	部長 松谷川 国男

本 院

舞子浜病院

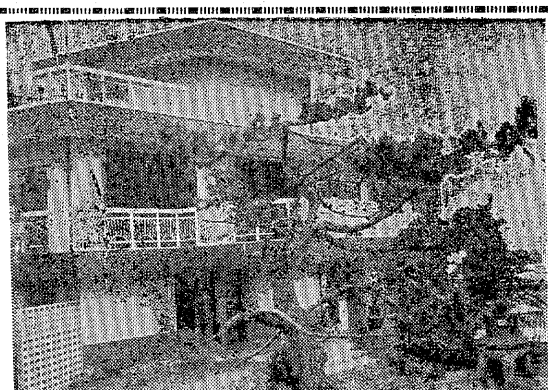
城南分院

いわき市平字南町二二

電話(代) 二二六

電話(高久局) 六二

いわき市平字小太郎町一八



結婚式に

ご会合に

御宿泊に

明るく 広く 爽やかに そして静かな

ホテル 報徳

TEL (平) 6-2211 代

東京案内所 台東区上野花園町13 電 (828) 3607

安全、便利、無線車完備

平営業所 ③二二七五・④二六四〇

好問営業所は ④五三七二

草野営業所は ④五六四七

平字二丁目

尼子タクシー

秋ブナつれだす

待望のハゼの時期来る



つりだより

秋の秋がやってきた。今年の秋は、つり場がどの川も小ブナが繁殖して秋ブナ釣りがいよいよ盛んに行なわれている。五、六センチの小きもつれるから面白い。いものから十センチ内外のものまで、またボラ、橋下は去年河川工事

が終り川中も広くなり水深も二、三尺あり、小ブナのほかに付近の沼から逃げ出した尺内外のブナが千尾余も入っている。このことではつりブナも揚がっている。

九月二十日は彼岸入りだ。待望のハゼは彼岸前からの釣れ出すが、いまだところあまり数は多くない。しかしサメ川河口付近は小型ながらハゼは数多く一束ぐらいつける。川内は、四倉、久之浜などがつり場が滑津川口でも揚がる。ハゼは、餌は藻エビが最高だがエビガニ、マゼでもよく群をなして押し

今秋二五〇キロ放流

新発足の夏井川漁協組

夏井川漁協組(町田自治組合)では今年新たに発足したばかりだが、漁協組の使命である魚類繁殖事業をやることとが重要なので各支部と協議の結果、来る十一月中にフナ、コイ各五十キロ、横川に放流する。コイは五六十センチ、フナは五、六十センチ、ウグイは五、六十センチ計二百五十キロ

夏井川漁協組(町田自治組合)では今年新たに発足したばかりだが、漁協組の使命である魚類繁殖事業をやることとが重要なので各支部と協議の結果、来る十一月中にフナ、コイ各五十キロ、横川に放流する。コイは五六十センチ、フナは五、六十センチ、ウグイは五、六十センチ計二百五十キロ

深海でも増殖可能

アワビ、45年度に事業化

いわき市平字大町常磐化成(株)は、本県沿岸のアワビ増殖事業に明るい見通しがたてられた。このため同社では、一般消費者は手もつけれない高級品。これを大量に増殖しようといわき市小名浜の県水産試験場ではアワビ漁場の開拓調査を進めていたが、これまで水深十メートル以内の海中にしか生息しないといわれたアワビが、水深二十五メートル付近でも増殖すること

同水試の大和技師がアワビを養殖している同市間の沖合い二キロ付近にもアワビを調べたところ、天然アワビ十七個をみつけた。直徑八、九センチと小型だが、この海域は水深二十メートルから二十五メートルもあり立派に増殖できることがわかった。アワビの増殖調査は県水試の増殖部が昨年夏から本格的に生息していたことが、県水

公害騒ぎおわる

常磐化成で防臭装置

いわき市平字大町常磐化成(株)は、本県沿岸のアワビ増殖事業に明るい見通しがたてられた。このため同社では、一般消費者は手もつけれない高級品。これを大量に増殖しようといわき市小名浜の県水産試験場ではアワビ漁場の開拓調査を進めていたが、これまで水深十メートル以内の海中にしか生息しないといわれたアワビが、水深二十五メートル付近でも増殖すること

旅は安心して泊まれる宿

旅館賠償責任保険加入

日本交通公社協定旅館

日本観光旅館連盟会員

旅館

甲陽館

平市駅前電(代) 3181

家具のデパート

丸ほん

いわき市平字三丁目 電 3-2251 (代表)

平の代表的土産品

平の生んだ世界的作曲家八橋操氏の作曲せる名曲「六段の曲」を記念する

第六段 中 凡 平

六段本舗 平 凡 平 駅前 電 42509

機械乾燥

公定加工家きんふん肥料

特許申請中

N-P-Kの外に必須微量元素含有

稔鶏ふん肥料

常磐化成株式会社

本社工場 いわき市平字大町28電 31761代

好問工場 いわき市好問町北好問電 32636

味じまん 甘太郎の 鯛焼

平銀座通り 電話 414025

株式会社 常磐ヤンマー製作所

社長 新妻良平

いわき市平字一丁目 電話 31326代

精医会病院

精神科 科科科 精神内外 入院需応

いわき市好問町下好問字大館223 電話(平) 32271 (代)

東洋酒販株式会社

社長 杉田松太郎 平字堂根町 電話 3188

夢心

レストラン サロ

いわき市平銀座 電話 32591代

森合歯科医院

院長 森合芳男 副院長 森合通雄

いわき市植田町 (植田公民館前) 電話 3471